

愛知県がんセンター愛知病院の岡崎市への移管に関する協議について

愛知県と岡崎市は、地域のがん医療提供体制の充実強化等に向け、愛知県がんセンター愛知病院と近隣にある岡崎市民病院の医療連携のあり方等について、平成29年3月から両病院の院長等により検討を行ってきました。

この検討では、より高度ながん医療を提供するため、限られた医療資源の集約化等を図ることが必要との観点から、早期にがんセンター愛知病院を岡崎市へ移管し、岡崎市民病院と一体的に病院運営することが望ましいとの検討結果となりました。

この検討結果を踏まえ、愛知県と岡崎市は、がんセンター愛知病院の平成31年4月の岡崎市への移管に向けて、移管の条件や移管後の病院のあり方等について、協議を行い、今年度内の合意を目指します。

(参考) 両病院におけるがん診療の状況

愛知病院	岡崎市民病院
地域がん診療連携拠点病院	がん診療拠点病院
肺、消化器、乳腺、骨軟部、血液	骨軟部腫瘍以外は全領域可能
肺がんと乳がん症例多数	肺がん手術不可、乳がん少ない
重篤な基礎疾患は診療不可	基礎疾患があっても診療可能
緊急事態には対応不可が多い	がん患者の緊急事態にも対応可
緩和ケア病棟、外来緩和ケアセンターあり	緩和ケア病棟がない
放射線治療装置はリニアックのみ	最新の放射線治療装置 (IMRT、リニアック、RALS)